

単元名 コロコロガーレ(工作)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) ビー玉が転がる仕組みを使った楽しい転がり方や仕組みに合った素材や形、色を見付け、工夫して表すことができる。
- (2) 楽しい転がり方や、いろいろな仕組みを思い付き、楽しくなるコースを考えるとともに、友達と作品を交換して遊び、よさや工夫した点などを感じとることができる。
- (3) ビー玉を転がして遊ぶ仕組みに興味をもち、楽しんでコースをつくろうとする。

標準的な展開例

04080104_001

【準備等】段ボール、ボール紙、厚紙、ビー玉、木工用接着剤、水彩用具一式、色紙、参考作品、色鉛筆、サインペン、はさみ、のり、カッターナイフなど

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 ビー玉で遊びながら作品の構想を練り、アイデアスケッチをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ビー玉で遊び、学習課題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ビー玉の転がる様子 ・ ビー玉がぶつかった時の動き ・ 作品の仕組み ・ 色や形 ★ ビー玉を使って楽しく遊ぶものをつくろう ○ ゲームが楽しく面白くなるようにいろいろな形を考えてアイデアスケッチをかく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ お花のコース ・ いろいろな道の迷路 ・ 森の中のコース ○ アイデアスケッチを基に、つくる計画を立てる。 <p>2～5 計画に従って作品をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボール紙に切り抜く形をかき、それを基に形を切り抜いていく。 ○ 切り抜いたボール紙を彩色したり、組み立てたりする。 ○ 転がる様子を確認して、作品を完成する。 <p>6 自分や友達で遊び、よさを認め合う鑑賞会を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の作品の工夫を発表する。 ○ みんなの作品で遊び、よさを認め合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ もう一つのコースも用意してあるので、2度楽しめる ・ ビー玉の落ち方もたくさんあるのが分かる。 	<p>・ 教科書3・4下 P.12, 13</p> <p>・ 参考作品を提示し、遊び方を演じたり、実際に自由に遊ばせたりして作品づくりの参考にさせる。</p> <p>・ 参考作品は、転がり方が面白いもの、色を工夫したものなど、ねらいがはっきりと分かるものを準備する。</p> <p>・ 楽しい仕組みや色、形に注目させる。</p> <p>・ アイデアスケッチを色鉛筆で簡単に着色させるとよい。</p> <p>・ 具体物や、三角形や四角形といった幾何学的な形でもよい。</p> <p>・ 実際に作品をつくる段階で、どんな材料を使うのかをスケッチに書き込ませると、今後の見通しが立てやすい。</p> <p>・ スケッチを見ながら、どんな材料が適当か、接着が可能かなど、個別に指導する。</p> <p>【評】 ビー玉の転がり方や構造を工夫して構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 具体物や、三角形や四角形といった幾何学的な形でもよい。</p> <p>・ アイデアスケッチで確認しながら、彩色をさせる。</p> <p>・ カッターナイフを安全に使えるように指導する。</p> <p>【評】 楽しい仕組みにするために、用具を正しく使い、形を工夫して、想像したコースをつくる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 自分や友達がつくったコースで楽しく遊び、よさや面白さに気付きながら活動する姿を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>【評】 作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】